

第3回九州 MISt 研究会開催報告

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

去る平成27年9月5日、博多市のレオパルス博多3Fにて第3回九州 MISt 研究会が開催されました。

総勢72名の MISt に関心のある先生方にご参加をいただき、講演・一般演題ともに活発なご討議が広げられ盛大に会が終了したことをご報告申し上げます。ご参加された先生方には改めて御礼申し上げます。

今回は特別講演として慶應義塾大学整形外科講師の石井賢先生には MISt の始まりから現在に至るまでの遷り変りと適応、さらには今後のさらなる飛躍について、また MISt を日本から発信しようという将来の展望について熱弁をふるっていただきました。製鉄記念室蘭病院の小谷善久先生には前方アプローチにおける解剖学的知識の習熟の必要性および OLIF/XLIF の可能性と限界についてこれまでの経験とデータを基にこれから XLIF/OLIF を導入する先生方に必要な情報を惜しみなく披露していただきました。また下関市立市民病院の山下彰久先生には高齢化社会・骨粗鬆症治療としてテリパラチドの普及・継続のために課題と対策について具体的な方法も踏まえてご提示いただきました。いずれの講演も九州圏内の先生方にとって MISt を導入・発展させていくために大変有意義な内容でありました。

また一般演題にても各先生方のさらなる MISt へ目指すために新たな試み・手技や合併症対策としての取り組みなど今後が期待される内容ばかりで貴重な症例をご提示いただいた演者の先生方には本当にありがとうございました。

次回の第4回九州 MISt 研究会は来年5月に予定されることとなり、長崎労災病院の奥平毅先生が当番世話人となります。次回からはご参加いただいた九州圏内の先生方にもハンズオンセミナーを設けて実際に進歩した MISt 器具に触れていただきまして、より MISt の導入に前向きに検討してもらえるようにするなど九州 MISt 研究会もさらに内容の濃い研究会へと発展していきたいと思っております。

その際には日本 MISt 研究会の先生方にも是非ご協力をいただければと思います。

第3回九州 MISt 研究会の成功裡にはお集まりいただいた先生方・MISt メンバーの皆様・企業の皆様のお陰であります。心より感謝申し上げます。

第3回九州 MIST 研究会 当番世話人

大分整形外科病院

中山 美数

